

## 2021年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年8月11日

上場会社名 株式会社 AKIBAホールディングス  
 コード番号 6840 URL <https://www.akiba-holdings.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 2020年8月12日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 TEL 03-3541-5068

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	3,501	61.6	104	50.0	102	57.4	64	64.2
2020年3月期第1四半期	2,166	10.7	69		65		38	

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 61百万円 (53.1%) 2020年3月期第1四半期 40百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	69.69	
2020年3月期第1四半期	42.44	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第1四半期	6,813	1,912	25.8	1,917.25
2020年3月期	6,958	1,850	24.4	1,847.52

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 1,761百万円 2020年3月期 1,697百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		0.00	0.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)		0.00		0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルスの影響により、現時点では合理的に算定することが困難なことから未定としております。今後、業績予想の算定が可能となった段階で、速やかに公表いたします。

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	919,256 株	2020年3月期	919,256 株
期末自己株式数	2021年3月期1Q	724 株	2020年3月期	724 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	918,532 株	2020年3月期1Q	918,699 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症による影響を現時点で合理的に算定することが困難であることから、未定といたします。なお、詳細については、添付資料3頁「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

また、四半期決算補足説明資料については、当社ウェブサイト(<https://www.akiba-holdings.co.jp/>)に掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、経済活動が大幅に制限された影響を受けて景気が大きく後退するなど、極めて厳しい状況で推移いたしました。また、国際情勢においても新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う景気の減速に加えて、米中貿易摩擦などのリスクもあり、先行き不透明な状況で推移いたしました。

そのような状況において当社グループは、各事業セグメントにおいて新規案件の獲得、新規商材の検討、対面に頼らない営業手法の構築に努めるほか、新規事業として栃木県日光市鬼怒川温泉所在のペット同伴温泉旅館「鬼怒川絆」の再生事業を行うことを決定し、10月開業を目指して準備を行っております。なお、当社グループのビジネスは、第4四半期にかけて売上が集中する傾向にあります。メモリ製品製造販売事業において売上が大きく伸びたことから、当第1四半期の売上は例年を大きく上回る結果となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、3,501百万円（前年同期比61.6%増）、営業利益は104百万円（前年同期比50.0%増）、経常利益は102百万円（前年同期比57.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は64百万円（前年同期比64.2%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

## ① メモリ製品製造販売事業

メモリ製品製造販売事業においては、新規顧客の開拓、取扱商品の見直しを計るとともに、IoTソリューション事業の拡大にも注力して参りました。緊急事態宣言の発令を受けて、全国的に在宅勤務・テレワークのためのPC需要が高まったことから、PCメーカー向けのメモリや販売代理店を務めるAMD製品の販売が大きく伸びているほか、IoTソリューション事業も順調に推移しており、当第1四半期連結累計期間の売上高は2,573百万円（前年同期比109.8%増）、営業利益は83百万円（前年同期は5百万円の営業損失）となりました。

## ② 通信コンサルティング事業

通信コンサルティング事業においては、IoT/5Gマーケットに向けた新たな取り組み、外注先等との連携の強化による更なる工事体制の強化、WEB戦略の強化、コールセンターの人員体制強化に努めてまいりました。主力の通信キャリア向け通信建設工事においては、緊急事態宣言の発令による工事の一時的な中断もありましたが、規模が昨年よりも拡大していることから前期を上回る結果となりました。また、コールセンター事業においては体制拡大により人員が増加しており、新型コロナウイルス感染症の影響による案件の獲得、終了の両方がありますが、前期並みの売上を確保いたしました。この結果、前期に比べて事業会社が1社減っているものの売上、利益とも微減にとどまり、当第1四半期連結累計期間の売上高は770百万円（前年同期比2.7%減）、営業利益は57百万円（前年同期比14.9%減）となりました。

## ③ HPC事業

HPC事業においては、緊急事態宣言の発令に伴い主要顧客である大学、企業が在宅となったことや学会、シンポジウムが中止となったことで対面営業が難しく、営業面では非常に厳しい状況で推移いたしました。そのような中でも、対面営業に頼らない営業手法の構築や、製造、技術、購買の各部門においても個々人のスキルアップを進めて受注から納品までのスピードアップに努めてまいりました。やむを得ず案件獲得のために価格競争に参加したため売上は前期並みを確保しましたが、低粗利の案件を手掛けたことから、当第1四半期連結累計期間の売上高は159百万円（前年同期比1.7%増）、営業損失は4百万円（前年同期は17百万円の営業利益）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (流動資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産の残高は6,584百万円となり、前連結会計年度末6,731百万円と比べ147百万円減少いたしました。

主な増減内訳は、現金及び預金の増加312百万円、受取手形及び売掛金の減少165百万円、商品及び製品の減少368百万円であります。

## (固定資産)

当第1四半期連結会計期間末における固定資産の残高は217百万円となり、前連結会計年度末226百万円と比べ8百万円減少いたしました。

## (繰延資産)

当第1四半期連結会計期間末における繰延資産の残高は10百万円であります。これは当第1四半期連結会計期間より新たに新規事業に伴う開業費を計上したことによりです。

(流動負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債の残高は4,417百万円となり、前連結会計年度末4,582百万円と比べ165百万円減少いたしました。

主な増減内訳は、買掛金の増加141百万円、未払法人税等の減少170百万円であります。

(固定負債)

当第1四半期連結会計期間末における固定負債の残高は482百万円となり、前連結会計年度末524百万円と比べ41百万円減少いたしました。

主な増減内訳は、長期借入金の減少45百万円であります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は1,912百万円となり、前連結会計年度末1,850百万円と比べ61百万円増加いたしました。

主な増減内訳は、利益剰余金の増加64百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、現段階において、在宅勤務・テレワーク向けのPC需要に伴うメモリ需要が今後も継続するか、並びに、新型コロナウイルス感染症の第2波が到来した場合の状況が不透明であり、それらが業績に与える影響を合理的に算定することが困難であることから、引き続き未定とさせていただきます。

業績予想の算出が可能となった段階で改めて公表させていただきます。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,584,941	2,897,548
受取手形及び売掛金	2,714,165	2,549,096
商品及び製品	1,240,793	872,196
仕掛品	11,974	34,126
原材料	75,917	62,132
その他	107,194	170,488
貸倒引当金	△3,111	△944
流動資産合計	6,731,875	6,584,644
固定資産		
有形固定資産		
建物	51,449	54,799
減価償却累計額	△4,111	△5,446
建物(純額)	47,338	49,353
車両運搬具	6,324	6,324
減価償却累計額	△263	△1,021
車両運搬具(純額)	6,060	5,303
工具、器具及び備品	60,764	64,752
減価償却累計額	△36,079	△39,085
工具、器具及び備品(純額)	24,685	25,666
有形固定資産合計	78,084	80,323
無形固定資産		
のれん	—	2,996
ソフトウェア	6,478	6,273
無形固定資産合計	6,478	9,270
投資その他の資産		
長期未収入金	34,912	33,412
その他	141,940	121,546
貸倒引当金	△35,283	△26,583
投資その他の資産合計	141,569	128,375
固定資産合計	226,132	217,969
繰延資産		
開業費	—	10,441
繰延資産合計	—	10,441
資産合計	6,958,007	6,813,056

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,116,146	1,257,843
短期借入金	2,600,000	2,560,000
1年内返済予定の長期借入金	282,706	282,892
1年内償還予定の社債	16,000	16,000
未払法人税等	200,916	30,008
賞与引当金	79,035	55,062
役員賞与引当金	32,500	—
その他	255,637	216,077
流動負債合計	4,582,941	4,417,883
固定負債		
長期借入金	412,201	366,974
社債	56,000	56,000
役員退職慰労引当金	—	2,430
退職給付に係る負債	30,931	32,448
資産除去債務	20,420	20,420
その他	4,771	4,184
固定負債合計	524,323	482,457
負債合計	5,107,264	4,900,340
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	700,000	700,000
資本剰余金	471,824	471,824
利益剰余金	526,914	591,135
自己株式	△2,041	△2,041
株主資本合計	1,696,698	1,760,918
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	310	145
その他の包括利益累計額合計	310	145
非支配株主持分	153,733	151,651
純資産合計	1,850,742	1,912,715
負債純資産合計	6,958,007	6,813,056

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	2,166,994	3,501,565
売上原価	1,793,677	3,076,114
売上総利益	373,316	425,451
販売費及び一般管理費	303,750	321,079
営業利益	69,565	104,371
営業外収益		
受取利息及び配当金	52	57
為替差益	1,340	—
受取家賃	2,148	3,850
営業支援金収入	224	—
保険解約返戻金	34,546	—
雑収入	604	353
営業外収益合計	38,917	4,261
営業外費用		
支払利息	2,964	3,545
為替差損	—	2,138
役員退職慰労金	40,000	—
支払手数料	—	99
雑損失	186	35
営業外費用合計	43,150	5,819
経常利益	65,332	102,813
税金等調整前四半期純利益	65,332	102,813
法人税、住民税及び事業税	21,746	28,218
法人税等調整額	942	12,661
法人税等合計	22,688	40,879
四半期純利益	42,643	61,933
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	3,653	△2,082
親会社株主に帰属する四半期純利益	38,989	64,015

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	42,643	61,933
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	△2,286	△165
その他の包括利益合計	△2,286	△165
四半期包括利益	40,356	61,768
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	36,703	63,850
非支配株主に係る四半期包括利益	3,653	△2,082

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					調整額 (注) 2.	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 1.
	メモリ製品 製造販売 事業	ウェブソリ ューション 事業	通信コンサ ルティング 事業	HPC事業	小計		
売上高							
外部顧客へ売上高	1,226,864	15,908	767,678	156,541	2,166,994	—	2,166,994
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	205	23,681	—	23,886	△23,886	—
計	1,226,864	16,113	791,360	156,541	2,190,881	△23,886	2,166,994
セグメント利益又は損 失(△)	△5,275	△1,371	68,110	17,926	79,390	△9,824	69,565

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△9,824千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△59,297千円及びその他調整額49,472千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない人件費及び一般管理費であります。その他調整額は、主にセグメントに帰属しない持株会社に対する経営指導料等の消去であります。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

「ウェブソリューション事業」につきましては、2019年7月1日より、同事業を単独で営んでおりました株式会社エッジクルーの全事業を株式会社パディネットに事業移管を行いました。その結果、前第2四半期連結会計期間以降は、「ウェブソリューション事業」は「通信コンサルティング事業」に統合されますが、前第1四半期連結会計期間までは存続していたため、当該期間までの実績を報告セグメント上「ウェブソリューション事業」に記載しております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 3.	調整額 (注) 2.	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 1.
	メモリ製品 製造販売 事業	通信コンサル ティング 事業	HPC事業	小計			
売上高							
外部顧客へ売上高	2,573,456	768,945	159,163	3,501,565	—	—	3,501,565
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	1,127	—	1,127	—	△1,127	—
計	2,573,456	770,073	159,163	3,502,692	—	△1,127	3,501,565
セグメント利益又は損 失(△)	83,148	57,978	△4,763	136,364	△481	△31,510	104,371

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△31,510千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△68,314千円及びその他調整額36,804千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない人件費及び一般管理費であります。その他調整額は、主にセグメントに帰属しない持株会社に対する経営指導料等の消去であります。

3. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。